

研究発表要領

発表用ファイルの作成

- ・ 発表形式はパソコンを用いたプロジェクタ方式です。OHP やスライドは使用できませんのでご注意ください。発表にあたっては、会場に備え付けの発表用ノートパソコンを使用することを原則とします。なお、パソコンの操作は講演者自身で行ってください。
- ・ 発表用ファイル作成においては、Windows の標準フォント（MS ゴシックやMS 明朝等）をご利用ください。それ以外のフォントをご使用の場合は、正しく表示されない場合があります。
- ・ 発表用パソコンの基本仕様は以下のとおりです。

OS : Windows7 Professional SP1 32bit

アプリケーション : Microsoft PowerPoint 2013, Adobe Acrobat Reader DC, QuickTime Player, Windows Media Player, VLC media player

※フォント等については発表者の環境と異なる可能性もあります

- ・ 発表用ファイル名は論文番号、アンダーバー、発表者名を用いて以下のように付けてください。
例) 論文番号 121 発表者名が地盤太郎の場合 → 「0121_地盤太郎.pptx」
- ・ 発表者は、発表用ファイルを記憶メディア（主として USB メモリ）に保存し、自分が発表するセッション会場にご持参ください。
- ・ SD カード、CD-R、DVD-R などの媒体の場合は別途ドライブを講演者自身でご準備ください。なお、動作保証はいたしかねます。

発表ファイルのコピー、動作確認

- ・ 発表セッションの 10 分前までにご自身の発表される会場に入室してください。
- ・ セッション開始前に、セッション会場内の発表用パソコンに発表用ファイルをコピーし、ファイル名を「論文番号（4 ケタ）_発表者氏名」に変更してください（本大会ではセッション会場の外に発表受付および受付用パソコンを設置いたしませんので、発表者は発表用パソコンにデータを直接コピーしてください。）
- ・ 発表時のトラブルを回避するために、発表者は発表用パソコンにデータをコピー後、正常に表示・動作するかを必ず確認してください。
- ・ 各日とも 8 時 30 分からファイルをコピーできるようにします。早目のコピーを推奨しますが、混雑が生じている場合は、直近のセッションでの発表者を優先します。午前中の混雑を避けるため、午後のセッションの発表者はなるべく昼休憩中にコピーするようお願いいたします。
- ・ 発表用パソコンでの動画再生は、リンク設定を含めて動作保証は致しかねます。動画ファイルを使用される場合は、必ず動作確認をしてください。会場のパソコンで動画が上手く動作しない場合は、発表者自身でパソコンをご用意いただき、それを用いて発表してください。後者の場合、モニターケーブルの差し替えも含めて発表時間内にお済ませください。

※モニターケーブルは D-Sub15 ピン（ミニ）ケーブルです

- ・ USB メモリ等経由のウイルス感染がないよう、主催者側でもウイルス対策を行っておりますが、発表者各位におかれましても十分注意をお願いします。

- ・ 発表会終了後に、発表用ファイルは主催者側で責任を持って削除します。

セッションの進行方法、発表時間

- ・ 一般発表での発表時間は1編あたり7分を基本とします。報告数の多いセッション、少ないセッションや、特別セッション、ディスカッションセッションについては、発表時間および討論の形式は座長に一任しています。
- ・ 発表者は会場の前方にご着席ください。
- ・ 発表はプログラム記載の順序で行い、割り当ての時間よりも早く終わったり、発表者が遅刻したりしても、発表時間は変更しません。また、パソコン操作や接続切り替え等に要する時間も発表時間に含まれます。
- ・ 発表中のベル合図は、発表6分経過後（1鈴）と7分経過後（2鈴）に行います。2鈴が鳴ったら、直ちに発表を終了してください。
- ・ 主催者側では、発表中のパソコン操作の補助者は用意しておりません。発表者各自でパソコン操作を行ってください。なお、発表者用にレーザーポインターを用意しております。

優秀論文・講演賞

- ・ 申込み時に35才以下の若手研究者奨励のため、優秀論文・講演賞を設けています。選出は各セッション座長の推薦に基づき、表彰者には賞状を授与するとともに、地盤工学会誌に受賞者氏名を掲載します。
- ・ 実りのある議論を期待するため、優秀論文・講演賞に関する評価対象は、
 - ① 論文と発表内容、発表方法
 - ② 各質疑における初回の回答

のみとし、その後の共同研究者からの補足や議論については、評価対象とはいたしません。これは、評価を気にされて、補足説明がないまま無難な討議に終始したり、質問者も受賞対象者に遠慮されて、議論が未消化のまま終わってしまったりすることがある、といったご意見を受け変更したものです。連名者も含め、セッション参加者全員での自由闊達な討議をお願いいたします。